



環境を整える

校長 宮林 伸之

11月9日の音楽会には、大勢の方にご鑑賞いただきましてありがとうございました。

音楽会をご覧いただいた感想には、多くの肯定的なご意見を寄せていただき、教職員一同大変に励みとなり嬉しく感じています。

音楽会の目的は、見栄えのいい合唱や合奏をすることではありません。練習を通して、次のような力をつけさせることだと考えています。

- 互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものを創り出す。
- 互いに発表し合うことにより、自他のよさを見付け合う喜びを感得する。
- 自己の成長を振り返り、自己を伸ばそうとする意欲をもてるようにする。
- 文化や芸術に親しみ、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てる。
- 一人一人が役割をもち、自立的な活動を行う。

リハーサル、児童鑑賞日、保護者鑑賞日と日を追うごとに見て、感心したことがありました。

それは、全ての子供たちが歌声や演奏等の能力を伸ばし、可能性を開花させたことです。このことで、学年全体の合唱・合奏の質が向上しました。また、リハーサルや児童鑑賞日に初めて他の学年の演奏を見て、啓発されてのことも要因の一つであると思います。上級学年、他学年の歌声や演奏を見ることによって、自分たちとの違いやよさに気づき、自分の歌声や演奏をさらに高めようとする気持ちがそうさせたのではないかと考えています。行事を通して本校が目指す「互いの良さを認め、協力して行動する子」が実現しました。改めて、子供たちの可能性を開花させるために、環境を整えることの大切さを実感いたしました。

学校環境には、学校内部における子供の学習・生活をとりまく環境と、学校をとりまく外部環境の二つの側面があると考えられています。また、学校における子供の学習・生活をとりまく環境には、物的環境と人的環境があります。

物的環境とは、学びたくなる環境を整備することです。校内の施設を整備することや教室内の教材教具・掲示等を整えることが物的環境にあたります。人的環境とは、子供たちを取り巻く人間関係にあたる部分です。教員はもちろんのこと学校に携わる職員、外部講師等も含まれます。

私は、今までの経験から人的環境の重要性を強く感じています。そのため、学校経営方針には「子供にとっての最大の教育環境は教師自身である」と記しています。そして、教師自身が「笑顔」「明るさ」を保つことを心掛けるよう伝えています。なぜなら、教師の笑顔や明るさが子供の安定につながるかと考えているからです。今後も教職員一同、子供のよりよい環境になるよう努めます。

さて、今まで子供の環境について述べてきました。

では、教職員の最大の教育環境は...誰なのでしょう。

それは、「管理職」。なかんずく校長だと思っています。

これからも、光が丘夏の雲小学校に通う子供たち、教職員のために努めてまいります。

体力テストの個票について

今年度より「東京都統一体力テストデジタル集計システム ALPHA」で、意識調査の回答と実技の記録をしていくこととなりました。各個人の記録は、「東京都統一体力テストデジタル集計システム ALPHA」のマイページよりご確認ください。以前配付しました QR コードよりログインできますので、ぜひお子さんとご確認ください。

一年生の QR コードは、現在担任が持っています。個人面談の際にログインの方法と合わせてお伝えします。他学年においてもログイン方法を、再度 sigfy にて送信いたしますのでご確認ください。以前にもお伝えしていますが、来年度以降も QR コードは使用いたしますので、捨てずに保管しておくようお願いいたします。